

子どもと共に笑い、楽しみ、学べる



小学校教諭

田渕 雅也 先生



自分たちと一緒に勉強や遊びを楽しんでくれた4年生の時の担任の先生へのあこがれがきっかけでした。

日々子どもたちと接する中で、たくさんの喜びを感じます。勉強や運動のどの分野であっても苦手意識をもつ子どもはいます。そんな子どもたちが「できた!」と満足気な表情になったり、休み時間に苦手だったはずのことに夢中になったりしている姿を見ると、とても嬉しい気持ちになります。また、保護者の方に、「先生のおかげで頑張ることができました」などの温かい言葉をいただけることも、力になります。

授業はもちろんですが、学校生活の中では学びの場がたくさんあります。4月から3月までの1年間で、子どもたちは大きく成長します。学級の子どもたちに、担任として自分の想いを語った私の言葉や内容が、数か月後に子どもたちの中で口癖になっていたり、当たり前前の日常になっていたりすることもあります。そんな子どもたちの成長や変化を感じるたびに、充実感を得ることができ、心が温かくなります。これが教師ならではの魅力だと思います。

先輩からのアドバイス

教員は子どもたちの成長に関わる、責任ある仕事です。こちらが真剣に向き合い、寄り添うことで、子どもたちはきっと心を開いてくれます。子どもたちと共に楽しく過ごせる、すばらしい仕事です!

Attention 滋賀県の教育の魅力

子どもたちと関わる中で、「どうしたら楽しい授業ができるのか」「力が付くのか」などの悩みを感じることがあります。そんな時には、先輩の先生に相談すると、快く相談のってくださいます。みんなで子どもを大切にしようという、素敵な先生方に支えられています。

田渕先生のある一日

5:30 起床
7:15 登校(8時から登校指導)
8:20 教室で指導



12:20 給食(児童と一緒に)
12:50 昼休み(掃除や読書)



13:50 授業開始



帰りの会をして15:40 下校
その後、欠席者への連絡、会議など

19:00 学校を出て帰宅



24:00 就寝

特別支援学校教諭

國近 咲良 先生



子どもも大人も一緒に成長!



知的障害がある弟の授業参観や教育実習を通して、児童たち一人ひとりに寄り添う先生方の姿に魅力を感じました。

教員になって毎日がやりがいに溢れています。私は現在小学部の担任を受け持っていますが、毎日新しい発見があります。児童らが積み重ねてできるようになったこと、いつも一緒に過ごしている児童らの初めて見る行動、自分なりに楽しく遊んでいる姿、授業での反応など、毎日学びがあります。そして、コミュニケーションが苦手な児童と目が合うようになり、自分にしか見せない姿が増えるなど、児童たちとの距離が縮まったと感じると、頑張ってよかったなと思います。

もちろん、思ったとおりに進まない授業や、教材研究の難しさ、児童とのかかわり方など頭を抱えることもたくさんあります。しかし、「自分も成長できている!」という喜びを感じると、教員になってよかったなとつくづく思います。

また、本校はとても相談しやすい雰囲気です。私は悩みを抱えやすい性格なのですが、特に特別支援学校は複数担任制(チームティーチング)であり、いつも同じ学級の担任の先生方に相談のっていただいています。

先輩からのアドバイス

晴れて特別支援学校教諭になったときには、チームティーチングが大切になります。複数の目で子どもたちを見守り、悩みがあるときは一人で抱え込まず、周りの先輩方に頼りながら一緒に解決しましょう!

Attention 滋賀県の教育の魅力

滋賀県は自然が豊かで、その特徴を生かしたカリキュラムの中でたくさんの本物体験をすることができます。そのような環境の中でのびのびと成長する子どもたちと一緒に過ごすことにとても魅力を感じます。私の勤務校も温かい雰囲気、日々頑張ることができています。

國近先生のある一日

6:30 起床
8:20 登校
児童たちが9時に登校後、教室での指導



12:00 給食
13:30 昼休み
(児童と一緒に遊ぶ)
13:45 授業開始



14:30 帰りの支度
15:00 下校
その後、教室の掃除、会議、校務分掌
19:00 学校を出て帰宅
23:00 就寝

自分の思いを伝える喜びを知ってほしい。

近所の子どもたちに、絵画を教えてあげたことがきっかけ。楽しく制作する姿を見て、教師になりたいと思いました。

一番は、生徒の笑顔を見ることです。私の学級の生徒たちは、毎日元気に登校し、友達と楽しく過ごしています。しかし、時には笑顔の裏に、小さな悩みや不安が見えるときがあります。そんな時はゆっくり話を聴くことで、また安心して学校に通ってくれるようになります。一人の生徒に対して、3年間という短い時間ではありますが、生徒たちの心の支えになっていることに喜びを感じます。また、教科では、美術に苦手意識を持っている生徒に対して、いかに分かりやすく、技術や知識を伝え、楽しく制作させることができるか考えて授業を組み立てます。授業の仕掛けづくりがうまくいき、自分を表現することに臆病な生徒たちが、「私の作品を見て！」と目を輝かせている姿を見ると、こっそりガッツポーズしたくなるほど嬉しくなります。自分の関わりによって、生徒たちが毎日元気に登校したり、授業を楽しみに来てくれることが、何よりもよかったと思えることです。

先輩からのアドバイス

自分の子どもが小さい頃は、臨時講師として勤務していましたが、子育てがひと段落したタイミングで、周囲の先生方の応援もあり、正教員を目指すことを決意しました。若い先生と一緒に働くことは不安があるかもしれませんが、子育てを経験したからこそできる考え方や接し方は、強みになると思います。



中学校教諭 美術

前田 三保子 先生

Attention 滋賀県の教育の魅力

どの学校の先生方も生徒たちが大好きで、毎日丁寧に、子どもに向き合っています。大変な仕事はたくさんありますが、みんなで声を掛け合い、助け合って仕事をしています。仕事のことでなく、プライベートなことも気軽に話せるので、毎日楽しくやりがいを感じて働くことができます。

脇役として主役（生徒）の魅力を開花させる。

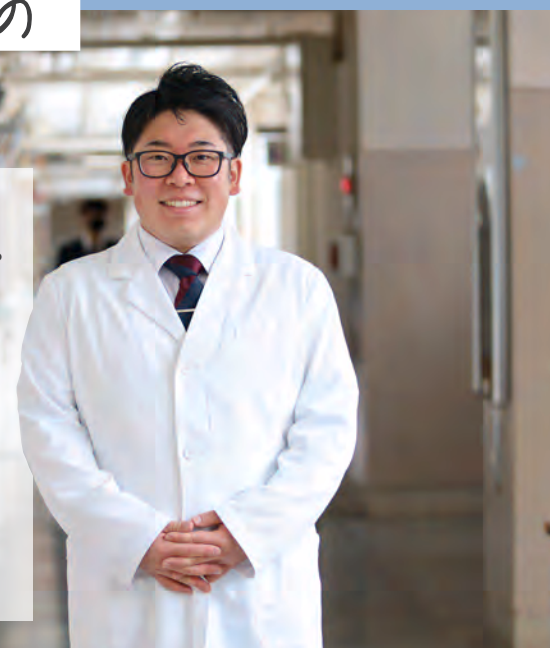
人生の中で「師」と思えるような指導者に恵まれました。自らも生徒の良き「師」になりたいと思い、教員を志望しました。

生徒は日々成長していきます。そんな生徒の成長を一番近いところで見られるのが教師の良さだと思っています。「授業で説明してもらったところがわかるようになったよ」と満面の笑みでやってくる生徒の顔を見ると、「教材研究、頑張ってよかったな」と心の底から思います。部活動においても、私はソフトテニス部を担当していますが、「目標達成のために」という思いで、一生懸命に指導することもあります。そして日に日に技術が向上し、目標へと近づいていく生徒の姿を見るとうれしく、生徒以上に喜んでいくかもしれません。

教師は主役ではなく名脇役であるべき、と私は思っています。あくまで生徒が主役です。ただ主役でも気づかないような魅力を引き出させる名脇役がいてこそ、良いストーリーが生まれます。教師の仕事をしていると、生徒が自らの魅力を開花させ、社会へと羽ばたいていく姿を毎年見ることができます。そんな姿を見たとき、私は教師のやりがいを感じるとともに、楽しさを感じています。

先輩からのアドバイス

教師の仕事には大変な面も当然ありますが、それ以上にやりがいや楽しさのある仕事です。大学生のうちに教科の勉強はもちろん、たくさんの経験を積みましょう。きっとあなたの助けになります。



高等学校教諭 理科(生物)

野崎 勝也 先生

Attention 滋賀県の教育の魅力

滋賀では、教員一丸となって生徒を見守ります。初めて教壇に立つ時、当然緊張しますが、多くの先生がサポートしてくださいます。また教科指導においても、教員間で情報交換を頻繁に行います。生徒とともに教員も成長し続けることができる、これが滋賀の教育の魅力だと思います。

栄養教諭

子どもたちの将来の健康な体をつくります。

子どもの頃好き嫌いが多かった私に、親身に声をかけてくれた小学校1年生の時の担任の先生のようにになりたいと思いました。

栄養教諭の主な仕事は、献立作成、給食を安全に提供するための衛生管理などの給食管理と、子どもたちに食の大切さや楽しさを伝える食育指導の2つです。給食の時間には、各教室を回り、子どもたちの食事の様子を観察したり、声をかけたりします。献立作成時は、いつも給食時間の子どもたちの様子を思い浮かべます。残食の多い食べ物も、味付けや調理方法を工夫することによって、食べられるようになる子が増えると、とてもうれしい気持ちになります。また、食育の授業で、2年生に成長に必要な栄養素であるカルシウムについて伝えようと、苦手だった牛乳をがんばって飲む子どもが増えました。5年生で行った朝食の授業では、みんなが活発に意見を出し合い、グループワークをする姿が見られました。このように、子どもたちの少し成長した姿や楽しみながらも真剣に授業に取り組んでいる姿を見た時に、栄養教諭としてやりがいを感じます。これからも、子どもたちと一緒に、栄養教諭として成長していきたいと思います。

先輩からのアドバイス

現在勤務している学校は自校給食なので、子どもたちの「おいしい」と言う笑顔を毎日見ることができます。子どもの笑顔が見たい、食べ物のことについて教えたい、そんな人には栄養教諭はとてもおすすめの仕事です。



高山 理央 先生

Attention 滋賀県の教育の魅力

栄養教諭は人数が少ないため、1人で悩んでしまうこともあります。しかし、そんな時はいつも先生方が「どうしたの」と温かい声をかけてくださったり、話を聞いてくださったりします。そんな優しく温かみのある職場に日々、支えられています。

養護教諭

「一歩踏み出すきっかけの場所」をつくります。

学校生活を送るには、心と体の健康バランスが基礎であることに気づき、子どもの心身の健康を守り育てる養護教諭を志望しました。

自分の手で触れて手当てができ、子どもたちに安心感を与えられる養護教諭という職業に就くことに幸を感じます。自身の学校生活を思い出すと、痛いところの処置をしてもらったり、辛いときに背中をさすってもらったりすると、安心した経験があります。養護教諭だからこそ、体のアセスメントから心へアプローチでき、子どもたちが心身ともに健康で、安心して学校生活を送ってくれていることをとてもうれしく思う日々です。

また、子どもたちが何気なく保健室に来て「なんか落ち着くねんなあ」と言ってホッとしてから授業へ行く姿を見ると、養護教諭になってよかったと思います。保健室経営や対応に悩むこともありますが、保健室を「一歩踏み出すきっかけの場所」にしたいです。これでいいんだと子どもたちが気付かせてくれることもあり、日々子どもたちからパワーをもらい、先輩方に支えていただけるこの環境に感謝の気持ちでいっぱいです。

先輩からのアドバイス

現場に出てからは、自分の心身の健康が第一です！子どもに負けないくらい体の元気さ、子どもが納得するまで思いを聞いて受容し続けられる心の余裕が必要です。子どもと向き合うために、自分を大切にしてください。



岩村 季良利 先生

Attention 滋賀県の教育の魅力

私は県外出身ですが、心細さを全く感じないほど温かい職場環境が働いています。校内では一人職で不安なことがありますが、先輩方が目指す背中を常に見せて支えてくださいます。また、市内の心強い先輩養護教諭の方々は、一人で抱え込まないよう、いつも優しく気にかけてくださいます。